

ほおづえ

第11号

会報11号発行に際して

ほおづえ会会長 宮川 浩志(2期)

ほおづえ会の会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

昨今の厳しい状況の中ではありますが、頑張って居られることと思います。

本会は発足後はや8年を経過しましたが、この2年近く、ほおづえ会の活動状況を皆さんに報告すべき会報の発行が成されていないことを先ず始めにお詫び申し上げます。

特に会報の原稿をお願いしながら掲載されないままになっている方々には申し訳なく思っています。

会報が発行出来なかった理由は様々ありますが、第一には私を筆頭とする役員が中だるみの状態であったのではと、反省しています。今後は、役員会を定期開催し、より良い活動が出来る状態にすべく、努力してまいります。

今回の会報11号の発行に際しては、昨年11月より役員会を重ねてきました。11月7日、25日の役員会では同窓会の現在の問題点をひろいあげ、その上で同窓会の今後のあり方に関し休会、解散も含めて話し合いました。そして、もう一度同窓会設立時を思いおこし気持ちを新たに活動すべき時であると考え、会報11号の発行に向けて12月11日、1月15日、2月5日と役員会を開催し、今回の発行にいたしました。

新年度(平成15年度)には、役員の改選もありますので、本部の活動のあり方を再度見直して、より良いかたちで継続的に活動出来るように新たな提案もして行きたいと思っています。先ずは、名簿・会報のあり方、ほおづえ会HPの立ち上げ、会費納入方法等について考えてまいります。

会員の皆様にも協力して頂ける様、お願いいたします。

昨年来、会報を発行していない関係で、会費納入依頼をしていませんでした。そのため、ほおづえ会の活動資金が少なくなっています。今回は、これまでと同様の振込み用紙を同封しておりますので、会費の納入もお願いいたします。

これまでの経緯

前回の会報発行から約2年間、会報の発行が停止した状態になっていました。このような事態になったことを会員の皆様に深くお詫びするとともに、これまでの経緯を報告いたします。

H12.12.01 会報10号発行

H12.12.20 会員名簿発行

H13.09.22 H13年度役員会開催（決算報告）

平成13年6月に会報11号を発行することに向けて編集作業を開始していましたが、従来から編集作業が一部の役員に集中していたことと、会の運営がボランティア作業で行われていることに対する甘えから、十分な管理体制がとられていませんでした。その結果、会報に同封するはずの平成13年度会費徴収のお願いも発送することができず、平成13年度の会費収入が無くなり悪循環に陥りました。

今後の方針

ほおづえ会の目的である、「会員相互の親睦を図り石川高専建築学科の発展に寄与すること」を前提としながらも、会報の発行や親睦事業の準備作業の合理化を図り、より活発なほおづえ会の活動を目指します。みなさまからお預かりした会費を有効に利用し、還元するために以下の計画を考えています。

1．会員名簿の全体同窓会との統合

現在、ほおづえ会(建築学科)独自の会員名簿と石川高専全学科の同窓会会員名簿の2種類が存在しています。近年は、全体同窓会との連絡体制も整い相互の情報交換もできるようになり、同一情報のものが別々に発行される必要性がなくなってきました。名簿発行にかかる費用の削減によって、会員の親睦事業や母校への援助事業などに有効利用していきたいと考えています。

2．会報発行を年1回とする

従来、年2回の発行を原則としていましたが、発行までのタイムラグによる会報記事の話題性のずれが生じていました。年1回の発行によって、一年の総括的な報告事項を中心とした記事を毎年定期的に発行することによって、計画的に編集・発行作業を行い、作業の軽減を図ります。発行回数を減らしても会報は会員相互を結ぶ重要なものと考えていますので、内容の充実と定期的な発行をしていきます。

3．インターネットの利用

ネット環境が職場や家庭で整いつつある現在、話題性のあるニュースや会員相互の連絡にインターネットは欠かせないものとなってきています。ほおづえ会でもWebページを開設し、ほおづえ会からのお知らせや連絡事項、BBS(掲示板)による情報交換など会員が自由に使っていただける場を提供します。これは会報を補完するものとして、みなさまの近況や懇親会・見学会などの情報などをお寄せいただくことによって、積極的にほおづえ会の活動に参加していただければと思います。

現在、試験運用中です。下記URLからご覧下さい。

ほおづえ会URL <http://hoozue.hp.infoseek.co.jp>

収支決算報告

平成12年度決算報告 (2000/8/1 ~ 2001/7/31)

<収入の部>

会費	798,000
利息	296
定額貯金解約	200,000
前年度繰越金	210,642
合計	1,208,938

<支出の部>

総会費	50,925
印刷費	705,600
通信費	132,550
慶弔費	20,000
事務費	35,528
次年度繰越金	264,335
合計	1,208,938

平成13年度決算報告 (2001/8/1 ~ 2002/7/31)

<収入の部>

会費	299,000
前年度繰越金	264,335
合計	563,335

<支出の部>

事業費(学校への援助等)	320,000
事務費(保険料)	1,880
次年度繰越金	241,455
合計	563,335

学科スタッフ紹介

教授：金木 健（計画・在職 29 年目）着任 S49/04
教授：石渡 博（環境・在職 07 年目）着任 H08/04
教授：北田幸彦（構造・在職 25 年目）着任 S53/04
教授：河内浩志（計画・在職 16 年目）着任 S62/04
助教授：中村昭英（構造・在職 33 年目）着任 S45/10
助教授：熊澤栄二（計画・在職 05 年目）着任 H10/12
助教授：佐藤英代（計画・在職 05 年目）着任 H10/06
助教授：船戸慶輔（構造・在職 08 年目）着任 H07/04
講師：村田一也（計画・在職 01 年目）着任 H14/10
助手：内田 伸（計画・在職 04 年目）着任 H11/04

養高館（学食）menu

今は売店カウンターではなく
券売機で食券を買います。

うどん・そば	170 円
うどん・そば	200 円
ラーメン	240 円
カレーライス	280 円
定食（汁なし）	320 円
定食	360 円

カツ丼、玉子丼などの丼物は
なくなりましたが、日替わり
メニューになった喫茶コーナ
ーには、丼物があります。

（平成 15 年 02 月現在）

高専ひとくちメモ

改修後の学習環境

文部科学省の基準変更に伴う低学年棟建設、専攻科棟およびトライアル研究センター棟の建設、そして耐震補強に伴う改修工事が終わり、高専の学習環境は大きく変わり始めました。

教室・教官室は全熱交換型冷暖房完備、建築棟は廊下とトイレ、製図室を除いて床壁天井改修済み、無線 LAN 学内 OK となっております。しかし、未だに女子トイレは少なく、製図室は夏は暑く冬は寒い状態なのが残念です。

平成13年04月	川島洋一先生、着任（助教授） 北田幸彦先生、昇格（教授）
平成13年05月	内田伸先生、都立大学へ（文部科学省内地研究員）
平成13年08月	「食べちゃいたくなる家づくりコンテスト」企画・開催（建築士会50周年事業）
平成13年09月	「夢みどり石川」展へ「2050年の夢みどり石川」出展（建築士会/OB共同）
平成13年11月	内田伸先生、帰校
平成13年11月	「第3回全国高専建築シンポジウム」参加（明石）
平成14年02月	「オープン・ジュリー」開催（小林克弘先生／建築家・東京都立大学教授）
平成14年02月	「建築家講演会」開催（陶器二三雄先生／建築家）
平成14年02月	津幡町公民館主催「みんなで町づくり集会」にてモデル発表
平成14年05月	耐震補強に伴う改修工事、建築棟開始
平成14年09月	建築WorkShop2002「公共空間に設置するベンチ」開催
平成14年09月	津幡町「どまんなかフェスタ」にてWorkShop作品展示
平成14年09月	川島洋一先生、退官
平成14年10月	村田一也先生、着任（講師） 中村昭英先生、昇格（助教授）
平成14年10月	耐震補強に伴う改修工事、建築棟完了
平成14年10月	「おかしなお菓子な家づくりコンテスト」開催（建築士会/OB）
平成14年10月	熊澤栄二先生、米国イサムノグチ財団へ（文部科学省在外研究員）
平成14年10月	「第4回全国高専建築シンポジウム」参加（呉）
平成14年11月	耐震補強に伴う改修工事、建築棟完了

この他、二級建築士のための建築ゼミナールとして毎年9月と12月～1月に公開講座を開催、卒業生の方には講師としてご協力頂いております。（今年も公開講座卒業生から2級建築士合格者が出て喜ばしい限りです。）また上記の内、全国高専建築シンポジウムの参加に際しては、ほおづえ会よりご援助頂き、13年度の紀友祭の際には、ほおづえ会の協力で卒業生4期の長村寛行さんの作品展示および講演会が開催できました、本当にありがとうございました。また学生課外活動として、オダケホームの住宅コンペや石川県デザイン展への参加および受賞、そして毎年受験しているCADデザイナー検定試験では初の一級の合格者が出ました。

着任にあたって

建築学科 講師 村田一也

昨年3月に大学院を学位取得修了し、同年10月1日付けで建築学科の講師に着任しました20期の村田です。

高専に戻ってまだ半年も経っていませんが、身体がこの場所にいることを少しずつ許容しつつあります。勿論、10年前とは校舎も学生も変わってはいますが、どことなく高専っぽいという雰囲気は変わらずあるようです。誰も彼もが何となくプライドをもっていてもそれを気づかれないようにと隠そうとしているけれども何故だか隠し切れてないみたいなそんな感じが漂ってます。だから、あ～こんな奴うちのクラスにもいたよ～的な学生がいたりして、ひとりほくそ笑んだりしています。

出戻り（学内では鮭というようですが）であるので、今後はほおづえ会の方でもお世話になることもあると思いますが、よろしく願いいたします。

平成15年2月12日発行

編集／発行 石川工業高等専門学校建築学科同窓会事務局

〒920-0022 石川県金沢市北安江1丁目6番27号 専門学校E S S Eテクノカレッジ金沢内

TEL 076-234-3311 FAX 076-234-3432